

The 229th Programming Deliberation Committee

第 229 回番組審議会 議事録

開催日 2019 年 4 月 16 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、攝待卓委員、井手口彰典委員

1、

議題（審議番組）： 「RADIO DISCO」

放送日時： 毎週土曜 15:00 - 18:00

DJ： DJ OSSHY、亀井佐代子

会社からの説明

ミラーボールは欠かせない！80 年代のキラキラ輝く記憶がよみがえる。

土曜のお昼はくラジオでディスコ＝RADIO DISCO＞。番組メインは DJ OSSHY こだわりの選曲による、渾身の生 MIX パート。70s、80s ディスコ全盛期のリアルタイムミックスはもちろん、90s クラブ全盛時代のサウンドも加え、ディスコカルチャー完全網羅でお届けします。ディスコのお約束「チークタイム」「バースデーコール」ありの 3 時間。思わずラジオの前で踊りだしたくなる、まさに RADIO が DISCO に大変身。

委員からの意見・感想

審議委員 A

DJ による 20～30 分ほどの長尺のミックスの中で放送された曲のタイトルやアーティストの紹介がないことが気になった。曲の情報をもっと知りたかった。また、登場したゲスト DJ の紹介もなく、彼らを知らないリスナーからすると身内だけで盛り上がっているといった気がした。知らない用語も多く聞かれたので、ディスコを知らない世代や番組を新しく聞こうとする新参者にはとっつきにくい番組と感じた。

審議委員 B

番組冒頭のトークが長い。またディスコを意識したバースデーコールも長く退屈を感じた。ただ、カテゴリーを決めて曲をオンエアしているところや、直前に入った訃報を受け、トリビュートするといった、リアルタイムの情報を取り入れる生放送感は良かった。

審議委員 C

3 時間はすこし長く感じたが、ディスコ世代であることもあり、チークタイムに流れる往年の名曲（＝懐メロ）が楽しめてよかった。また、懐メロをただただオンエアしていくだけでなく、ゲスト DJ たちのテクニックが随所にみえ、その点が面白かった。

審議委員 D

最初の 10 分間がトークだけで進行されていることに、テンポの悪さを感じる。生放送感もあまり感じなかった。一方で、DJ の MIX は技もありうまかった。ただ「ディスコ」のイメージにあわせた選曲にとどまらず、ファンクミュージックなどもかけてメリハリをつけたらより良くなるのではないか。また、イベントとの連動などを積極的にしていってはどうか。

審議委員 E

この番組と有線放送との違いがわからない。同じようなテンポ、テイストの楽曲が垂れ流しになっていてだらだらとした印象を受けた。また、DJ が担当している他番組との差別化もなく、オリジナリティがなかった。新しい音楽を効果的に取り入れていくと良くなるのではないか。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上